■進捗状況

中項目１－２　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　公開日：2026年６月

分野	項目名
教育	世界市民教育の成果の可視化
内容	
本学の教育全体を「価値創造教育プログラム」として体系化し、アセスメント・ポリシーの設定やアセスメントツールの開発等、その教育効果を検証する仕組みをつくりながら、適切に評価できる人材の養成にも取り組む。	
	取組状況
2021年度	※2024年度以降の取り組みを予定
2022年度	－
2023年度	－
2024年度	・2026年度のカリキュラム改訂に合わせて、2022年度に作成した「世界市民教育カリキュラムマップ」の妥当性の検証も含めた価値創造教育プログラムの点検が必要となる。そのために2024年度は、価値創造教育プログラムの体系整理に着手し、世界市民教育カリキュラムの点検作業を開始した。 ・補助金申請を活用したアドバイザー教員支援機能の利用推進の周知・徹底を行った。また、アドバイザー教員支援機能拡充機能（出席ヒートマップ、期限切れ課題状況）のリリース、ならびにディプロマ・ポリシーに即した学修成果の可視化（2023年度生以降を対象）の本格運用を開始した。 ・学生サポート組織による連絡会議を定期的に開催した。
2025年度	・学生が自身の学びを効率的に振り返りできるよう、学修ポートフォリオシステムを刷新した。これにより、カリキュラムツリーや履修モデルの明示が可能となり、学生が４年間の履修・学修計画を主体的に策定し得る環境を整備した。 ・AP事業（大学教育再生加速プログラム）以降定着している「学び始めの目標設定・中間振り返り・学期末の振り返り」の自己調整学習支援の授業デザイン、AIによる振り返りフィードバック機能の導入に向けた検証を実施した。

事業計画１－２－５－１　　達成度　A・・・達成　B・・・一部達成　C・・・未達成

計画名	正課内外の「価値創造教育プログラム」の体系化				
実行開始年度	2024年度				
年度達成度	2021年度	－	2025年度	B	2028年度	
	2022年度	－	2026年度		2029年度	
	2023年度	－	2027年度		2030年度	
	2024年度	A	最終目標からの達成度		B	
2026年度以降	2026年度以降の新たな計画に、本取り組みを「統合」する。				

事業計画１－２－５－２　　達成度　A・・・達成　B・・・一部達成　C・・・未達成

計画名	IR（Institutional Research）機能を活用した学修成果の可視化					
実行開始年度	2024年度					
年度達成度	2021年度	－	2025年度	A	2028年度	
	2022年度	－	2026年度		2029年度	
	2023年度	－	2027年度		2030年度	
	2024年度	A	最終目標からの達成度		A	
2026年度以降	最終目標を達成しており、2025年度をもって「完了」とする。					

事業計画１－２－６

計画名	「価値創造教育アセスメント・エキスパート」の養成					
実行開始年度	2025年度					
年度達成度	2021年度	－	2025年度	B	2028年度	
	2022年度	－	2026年度		2029年度	
	2023年度	－	2027年度		2030年度	
	2024年度	－	最終目標からの達成度		B	
2026年度以降	2026年度以降の新たな計画に、本取り組みを「統合」する。					